



## 2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年4月14日

上場会社名 株式会社オーバーラップホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 414A URL <https://hd.over-lap.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永田 勝治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 岸川 雄吾 TEL 03 (4213) 2770  
 半期報告書提出予定日 2026年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	4,143	13.3	1,200	4.8	1,126	5.1	792	3.7	792	3.7	792	3.7
2025年8月期中間期	3,655	△6.7	1,145	21.0	1,071	65.5	763	89.8	763	89.8	763	89.8

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	39.61	38.28
2025年8月期中間期	38.18	38.18

- (注) 1. 当社は、2025年3月11日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり中間利益及び希薄化後1株当たり中間利益を算定しております。  
 2. 当社株式は、2025年8月期中間期時点では非上場であり、新株予約権は存在するものの、権利確定条件に上場条件が含まれているため、2025年8月期中間期の希薄化後1株当たり中間利益の計算に含めておりません。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年8月期中間期	18,459	8,197	8,197	44.4
2025年8月期	18,575	8,128	8,128	43.8

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	36.20	36.20
2026年8月期	—	0.00	—	—	—
2026年8月期（予想）	—	—	—	44.00	44.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 2. 詳細につきましては、本日公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,209	7.9	3,421	13.1	3,243	12.9	2,232	8.0	2,232	8.0	111.60

- (注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期中間期	20,000,000株	2025年8月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	2026年8月期中間期	一株	2025年8月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年8月期中間期	20,000,000株	2025年8月期中間期	20,000,000株

(注) 当社は、2025年3月11日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当社グループは、国際会計基準（以下、「IFRS」という。）を適用しております。
- (2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (3) 当社は、2026年4月15日（水）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 要約中間連結財政状態計算書 .....	3
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 .....	5
(3) 要約中間連結持分変動計算書 .....	7
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当社グループは、「マンガ・ノベル・アニメ・ゲーム・WEB——あらゆるメディアと多彩な才能をオーバーラップさせ世界に広がるIPを創り出し続ける。」という経営理念・経営方針のもと、業界の常識や、1つのメディアに縛られることなく、最適なメディアでコンテンツを生み出し、メディアミックスによって作品世界をさらに拡大・波及させていくことに挑戦し、業界・国境の垣根を越え、新しい才能とともにエンターテインメント業界の最前線へと駆け上がっていくことを目指しています。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、円安によるインバウンド需要や賃上げなどの雇用改善により、生産、貿易、消費などの経済活動が緩やかな回復傾向となっている一方、資源エネルギーの高騰による物価上昇の影響を受け、実質個人消費の回復ペースは鈍化しております。当社グループを取り巻く事業環境として、紙の出版市場が縮小している一方で、電子出版へのシフトによってコンテンツ自体に対する需要は底堅く推移しております。

このような環境の中、当社グループは継続的な新規IPの創出と、保有する既存IP価値の維持向上への取り組みを継続することにより、着実に収益を積み上げております。当中間連結会計期間においては、当社グループが原作を保有するアニメ作品である「とんでもスキルで異世界放浪メシ2」、「暗殺者である俺のステータスが勇者よりも明らかに強いのだが」、「お気楽領主の楽しい領地防衛」の3作品が放映開始となるなど、当社グループが保有するIPをもとにしたメディアミックス展開への取り組みについても注力してまいりました。一方、当社の上場関連費用等の一過性の費用の発生や、単行本発売増加に向けた先行投資の拡大により、営業費用は増加しました。

以上の結果、当中間連結会計期間における業績は、売上収益4,143百万円（前年同期比13.3%増）、売上総利益2,045百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益1,200百万円（前年同期比4.8%増）、税引前中間利益1,126百万円（前年同期比5.1%増）、親会社の所有者に帰属する中間利益は792百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当中間連結会計期間末の資産合計は18,459百万円（前連結会計年度末比116百万円減）となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権が348百万円、その他の流動資産が63百万円減少し、現金及び現金同等物が256百万円増加したことなどによるものです。

#### （負債）

当中間連結会計期間末の負債合計は10,262百万円（前連結会計年度末比185百万円減）となりました。これは主に、借入金が224百万円、営業債務及びその他の債務が56百万円、リース負債が37百万円減少し、未払法人所得税が150百万円、引当金が21百万円増加したことなどによるものです。

#### （資本）

当中間連結会計期間末の資本合計は8,197百万円（前連結会計年度末比69百万円増）となりました。これは主に、剰余金の配当により724百万円減少し、中間利益792百万円を計上したことなどによるものです。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の連結業績予想につきましては、2025年10月15日に公表した数値から変更はありません。

## 2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,796	3,053
営業債権及びその他の債権	3,230	2,881
棚卸資産	291	364
その他の流動資産	221	157
流動資産合計	6,539	6,457
非流動資産		
有形固定資産	64	94
使用権資産	215	183
のれん	7,679	7,679
無形資産	3,986	3,954
その他の金融資産	73	73
その他の非流動資産	16	16
非流動資産合計	12,035	12,002
資産合計	18,575	18,459

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,566	1,510
借入金	486	486
リース負債	74	75
未払法人所得税	192	343
引当金	20	20
契約負債	65	61
その他の流動負債	528	502
流動負債合計	2,934	3,000
非流動負債		
借入金	5,931	5,706
リース負債	147	110
その他の金融負債	267	267
退職給付に係る負債	48	53
引当金	27	49
繰延税金負債	1,090	1,073
非流動負債合計	7,513	7,261
負債合計	10,447	10,262
資本		
資本金	10	10
資本剰余金	4,993	4,270
利益剰余金	3,124	3,916
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,128	8,197
資本合計	8,128	8,197
負債及び資本合計	18,575	18,459

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書  
(要約中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上収益	3,655	4,143
売上原価	1,770	2,098
売上総利益	1,885	2,045
販売費及び一般管理費	739	844
営業利益	1,145	1,200
金融収益	1	5
金融費用	75	79
税引前中間利益	1,071	1,126
法人所得税費用	307	334
中間利益	763	792
中間利益の帰属 親会社の所有者	763	792
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	38.18	39.61
希薄化後1株当たり中間利益(円)	38.18	38.28

（要約中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年9月1日 至 2025年2月28日）	当中間連結会計期間 （自 2025年9月1日 至 2026年2月28日）
中間利益	763	792
中間包括利益	763	792
中間包括利益の帰属 親会社の所有者	763	792

## （3）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間（自 2024年9月1日 至 2025年2月28日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分			合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	
2024年9月1日残高	50	5,657	1,058	6,766
中間利益	—	—	763	763
その他の包括利益	—	—	—	—
中間包括利益合計	—	—	763	763
減資	△40	40	—	—
配当金	—	△708	—	△708
株式報酬取引	—	1	—	1
所有者との取引額合計	△40	△666	—	△706
2025年2月28日残高	10	4,991	1,821	6,822

当中間連結会計期間（自 2025年9月1日 至 2026年2月28日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分			合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	
2025年9月1日残高	10	4,993	3,124	8,128
中間利益	—	—	792	792
その他の包括利益	—	—	—	—
中間包括利益合計	—	—	792	792
配当金	—	△724	—	△724
株式報酬取引	—	1	—	1
所有者との取引額合計	—	△722	—	△722
2026年2月28日残高	10	4,270	3,916	8,197

## （4）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	1,071	1,126
減価償却費及び償却費	116	109
受取利息	△1	△3
支払利息	71	79
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	739	348
棚卸資産の増減額（△は増加）	△29	△73
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△100	△74
その他の金融負債の増減額（△は減少）	△540	—
その他	△424	22
小計	903	1,535
法人所得税の支払額	△507	△199
営業活動によるキャッシュ・フロー	395	1,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△18
無形資産の取得による支出	△1	—
利息及び配当の受取額	1	3
その他	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	0	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△243	△243
利息の支払額	△51	△61
配当金の支払額	△708	△724
リース負債の返済による支出	△30	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,033	△1,064
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△637	256
現金及び現金同等物の期首残高	2,772	2,796
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,135	3,053

## （5）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループはエンターテインメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

当社は、2026年3月23日開催の取締役会において、6,300百万円の資金の借入及び既存借入金6,300百万円の期限前弁済を行うことを決議し、2026年3月31日に実行しております。当該資金の借入及び既存借入金の返済は、中長期的な資金調達の安定化を図るとともに、既存借入金において付されていた財務制限条項の解消を含む契約内容の改善を行うことにより、さらなる財務基盤の維持・強化のために実施したのになります。

## 1. 資金借入の概要

①借入先	株式会社三菱UFJ銀行	
②借入金額	3,000百万円	800百万円
③借入金利	変動金利（基準金利+スプレッド）	
④借入実行日	2026年3月31日	2026年3月31日
⑤返済期日	2029年6月29日	2029年6月29日
⑥返済方法	期日一括	元金均等返済
⑦保証	連結子会社である株式会社オーバーラップによる債務保証	
⑧担保	無し	

①借入先	株式会社横浜銀行	
②借入金額	700百万円	300百万円
③借入金利	変動金利（基準金利+スプレッド）	
④借入実行日	2026年3月31日	2026年3月31日
⑤返済期日	2031年3月31日	2031年3月31日
⑥返済方法	期日一括	元金均等返済
⑦保証	連結子会社である株式会社オーバーラップによる債務保証	
⑧担保	無し	

①借入先	株式会社北陸銀行	
②借入金額	1,000百万円	
③借入金利	変動金利（基準金利+スプレッド）	
④借入実行日	2026年3月31日	
⑤返済期日	2030年3月31日	
⑥返済方法	一部元金均等返済後一括返済	
⑦保証	連結子会社である株式会社オーバーラップによる債務保証	
⑧担保	無し	

①借入先	株式会社名古屋銀行	
②借入金額	242百万円	158百万円
③借入金利	変動金利（基準金利+スプレッド）	
④借入実行日	2026年3月31日	2026年3月31日
⑤返済期日	2029年9月30日	2031年3月31日
⑥返済方法	期日一括	元金均等返済
⑦保証	連結子会社である株式会社オーバーラップによる債務保証	
⑧担保	無し	

①借入先	株式会社南都銀行	
②借入金額	100百万円	
③借入金利	変動金利（基準金利+スプレッド）	
④借入実行日	2026年3月31日	
⑤返済期日	2029年3月30日	
⑥返済方法	元金均等返済	
⑦保証	連結子会社である株式会社オーバーラップによる債務保証	
⑧担保	無し	

## 2. 既存借入金の期限前弁済の概要

①借入先	シンジケートローン 株式会社三菱UFJ銀行・株式会社北陸銀行・株式会社横浜銀行 株式会社南都銀行・株式会社名古屋銀行
②期限前弁済金額	タームローンA：1,700百万円 タームローンB：4,600百万円 合計：6,300百万円
③借入金利	変動金利（基準金利+スプレッド）
④借入日	2024年3月15日
⑤返済期限	タームローンA：2024年8月31日より6カ月毎に返済 （最終返済日：2029年6月29日） タームローンB：最終返済日（2029年6月29日）に返済
⑥期限前弁済日	2026年3月31日
⑦保証	連結子会社である株式会社オーバーラップによる債務保証
⑧担保	無担保
⑨財務制限条項	<p>a. 純資産 各年度の決算期末の連結財政状態計算書上の資本合計の金額を、当該決算期の直前の決算期の末日又は2024年8月に終了する決算期の末日における借入人の連結の財政状態計算書における資本合計の金額のいずれか大きい方の70%の金額かつ30億円以上に維持すること。</p> <p>b. 利益維持 各年度の決算期末における連結ベースの営業損益又は純損益のいずれか一つでも赤字となる状態を生じさせないこと。ただし、取得原価配分手続（PPA）を通じて認識される無形資産（契約関連資産）償却費を足し戻す。</p>